レンタルや災害時の活用も提案していく。

住したのを機に起業した。 介された加東市に家族で移

笑顔で仕事をしたい」

「ラフ(笑う)」を

ラスのように縫い合わせる

しにくく加工した鉄骨を使 こともある。骨組みに酸化

売れたが「需要はつかまえし、加東市内の施設に1棟

グランピングなどが流行

新型コロナウイルス禍で

られなかった」と北川さん

ざまな色の布をステンドグ

えられるという。

房で修業した。

20年春、妻の知人から紹

加東の工房

地元のテント製作・設営工

くりをしたい」と帰国後、

「ラフワークミシン

ミシンの魅力に引かれた。 ざまなものを作れる工業用 ルで、生地をつなげばさま

1011年に訪ねたネパー北川さんは富山県出身。

Work

デザインはオリジナル、天幕も骨組みもすべて手製というドームテントの工房が、加東市にあ

デザイン独自、天幕や骨組みすべて手製

約3~7点と大きく、「菩選定。ドームは多くが直径選定。ドームは多くが直径

(第3種郵便物認可

工業用ミシンなどでつくり出す製品は、神戸で今秋開かれた

直径3~7

トメ

避難所などに

などでPRするが、別に見

イベント会場へのレンタル

決めてデザインする。さま一ントの直径を1059単位で変

「蓮」などテーマを

生かし、ニーズに応じてテ で建設業に従事した経験を って耐久性を持たせ、20代

|勝彦さん(43)が立ち上げた「Laugh

でも注目を集めた。販売のほか、

I-O9 Laugh Work Machin 兵庫県 世界にひとつのドームテント製作工具

蓮(はす)をイメージした小型のテント

なれば」とも。

トも用意し、

自治体などに 小型のテン

が気軽に寄り合える場所に

館などに置いて「地域の人か」と考えた。さらに公民

映像を見て「被災者が過ご

東日本大震災で避難所の

しやすいようにできない

(ラフワークミシン提供)

PRしていくという。

21年には、兵庫県信用組

合の支援で、

国の「ものづ

ル 6、神戸ポートピアホテ 4の中村豊明審議委員= 銀の中村豊明審議委員= の中村豊明審議委員=

なぐ力の持続性を確認した

作田誠司会長ら

社長、

重に対応すべきだ。

を解除する時期については

か、但馬銀行の

「30年ぶりのチャンスで慎

性向上促進補助金」の対象

くり・商業・サービス生産

はずが33年かかった」と笑う。 「3年の での手配業務に携わった。 戸市中央区)を受け、京浜支店 かけたが「3年で神戸に帰れる」 に従事。海外からの貨物を通関 大日通運(現トレーディア、神 出入に関心を持ち、港湾物流の は神戸での就職を志望した。輸 戸市須磨区)出身で、大学卒業後 (東京)での採用が内定。断り 30歳すぎには、日中企業が合 同支店では長らく、 顧客の指定場所に届けるま 「3年の

げを任され、中国・上海で1年 弁で建てた工場の倉庫で立ち上 トレーディア

大介氏

(神戸市中央区)

半働いた。臨機応変の対応を迫い経験ができた」と振り返る。いられ、若かったが責任を取る経りがあったが、最後はあったの呼吸で仕事が進んだ。いい経験ができた」と振り返る。いる経験ができた」と振り返る。いる経験ができた」と振り返る。 帰国後、

汗を流した。神戸市中央区に単身赴任中。58歳。を経て、17年執行役員。20年取締役、23年6月から運(現トレーディア)。京浜支店営業第1部長など運(現トレーディア)。京浜支店営業第1部長など

日夜、大黒正宗の銘柄で知

や同酒所など の老舗精肉店

安福

集まった

自らの蔵の日本酒と牛

た。

ビーフと日本

相性を考えて

神戸ビーフ

に生み出した

「いい肉の日」

の11月29

神戸灘五郷の

蔵元が商

温かいテントを作っていき 北川さんは「地域のよりどト以外での収入が多いが、 んは「テントの中の広さな と県中小企業団体中央会に ッセには昨年から、同信組 ころにしてもらえるような た」と手応えを口にする。 たい」と意気込んでいる。 ラフワークミシンで09 船の内装など、まだテン 国際フロンティア産業メ 実物を実感してもらえ



うと、

、大井肉

特徴を改めて の日本酒を紹 板」シリーズ

報を担当する

安福又四郎

「食事と合わ

もらった。 変わることない 温度によって き肉などと組 神戸ビーフの

## 田本酒と肉との相性を楽 東灘区御影本町3、灘五 東灘区御影本町3、灘五

豊かな体験が

員の1人で、 減速を念頭に 中村氏は6-

政策決定会合」 グではない」と

正を決めた7 不 唯一、反対していた 製作所の副社長 20年の就任 大規模な金融

## 成長続け 企業目指す

経済部

e-mail FAEX

· keizai@kobe-np.co.jp

078-362-7094

外に頭を下げて実現した時は、 涙目の荷主から「ありがとう」 ばら積み船の入港日

い上、輸入で扱う品目に消費財中国への輸出に関わる業務が多

1 足を受け、国際物流を取り巻く化に伴う消費の先細り、人手不中国経済の減速や国内の少子 とて任せられる」と言われて以 と言われて以 環境は不透明感を増す。自社は 相手から「笑顔がいいので安心 と感謝された。 同じころ、

商談 が多く、 危機感を募らせる。

●南あわじの商業施設運営 相合が破産 協同組合南淡ショッピングセンター(南あわじで神戸支店によると負債総額は推 定約1億円。2019年に事 定約10億円。2019年に事 定約10億円。2019年に事 を管理していた。同組合は、兵庫県猪名川町在住の画 は、兵庫県猪名川町在住の画 は、兵庫県猪名川町在住の画

成長させたい」 の推進に意欲を見せる。会社は の本道に意欲を見せる。会社は 5カ所の拠点拡充、デジタル 期経営計画づくりにかかる。 益を出し、 21年に設立80年を迎えた。 内12カ所の自社倉庫再編と海外 早速、2024年度からの中 100年を目指して (大島光貴)

作。A2到っ

コンテナを

専用フォーム=

から。6日締め

アナ船の絵画入り2024年家谷川夏樹さんが描いたコン家谷川夏樹さんが描いたコンスをは、兵庫県猪名川町在住の画

た。抽選で希望者100人に

=写真=を作

肉に合う日本酒

ようご ۹,

など機能を高めてきた。 導入。防水性を向上させる する機材を約600万円で に選ばれ、 生地を熱で接着 られる灘五郷の蔵元、 ようと、灘五郷酒所 肉との相性の良さをPR 又四郎商店(神戸市東灘区)

シンの北川勝彦代表=加東市西垂水ドームテントを製作、販売するラフワークミ

0.5682.8483

県内経済、緩や 日銀の中村豊明審議委員 日銀·中村審議委員 か 神戸 で会見 回復

と地域経済について意見交 兵庫県内の経済団体代表ら 訪れるのは2年ぶり。 会合 は30日、神戸市のホテルで、 した。審議委員が兵庫を 世銀がマイナス金利政策 い動き」と期待を寄せた。 い動き」と期待を寄せた。 た」とする一方、 が進まないという声があっ て「規模の小さな企業ほど ている」と述べた。 じて見ると緩やかに回復 で弱めの動きもあるが、総後の会見で「兵庫では一部 中村氏は兵庫経済につい 「水素関

議所や県経営者 た。 意見交換には